

敬老の日

まだまだ元気です

敬老の日には、高齢者を敬い、長寿を祝うとともに、福祉について関心を深め、高齢者の生活を図ろうという気持ちが込められています。

今年は9月20日が敬老の日。この日にちなみ、地域の高齢者をいたわり励ます行事や、周囲の人たちの「敬老」に感謝する行事が行われました。



↑川添町長が長生園で祝い金を手渡しました

敬老訪問

多年にわたり、社会のために尽力されてきた高齢者を敬愛し、長寿を祝う敬老訪問が9月6日から15日まで行われました。初日から、川添町長や民生委員、役場関係者が90

歳以上の高齢者宅を訪問しました。養護老人ホーム長生園では、川添町長が「いつまでもお元気でいてください」と声をかけ、入所者に町からの祝い金を手渡しました。

敬老会

敬老の日にあわせて、9月19日から20日にかけて、町内各地で地域ぐるみの運動会や敬老会がありました。

運動会では、子どもから高齢者まで集まり、和気あいあいとした中で競技を楽しんでいました。

敬老祝賀会では、地元の人たちで郷土芸能や歌、踊りを披露し、子どもたちはおじいちゃん、おばあちゃんのお絵を贈って喜ばせていました。

加世堂公民館では、早朝から「なでしこ会」の15人が中



↑子どもたちから歌のプレゼント



↑林会長から祝い金が配られました



←球根もいただきました

心となり、赤飯や煮しめなどの郷土料理を準備し、ごちそうしました。その後、32人の対象者に敬老祝い金と、3月下旬に開催される「夢追い長島花フェスタ」にあわせて、自宅できれいな花が観賞できるようにチューリップの球根がプレゼントされました。球根をもらった加世堂要さんは、「ありがたいいただきました。きれいな花を咲かせたい」と笑顔で話されました。